



まなざし

コレクション
による
特別展示

への

開館40周年
を記念して

西洋美術

2022.
11.19 SAT
12.11 SUN

左上:ピエール・ボナール《ヴェルノンンのセーヌ川》(部分) 1912年
右上:フランシスコ・デ・ゴヤ《戦争の惨禍》(74)《これはもう最悪だ!》(部分) 1810-15年
下:バルトロメ・エステバン・ムリーリョ《アレクサンドリアの聖カタリナ》(部分) 1645-50年頃

三重県立美術館
MIE PREFECTURAL ART MUSEUM



① バルトロメ・エステバン・ムリーリョ
《アレクサンドリアの聖カタリナ》 1645-50年頃
三重県立美術館蔵

展覧会について

1982年に開館した三重県立美術館は今年、40周年を迎えました。これまでに収集してきた作品は絵画、版画、素描、彫刻、工芸など6000点以上にも上ります。この中には、ゴヤやモネ、ルノワール、シャガールなど重要な西洋の作家の作品が含まれ、西洋美術はコレクションの重要な柱の一つとなっています。また、三重県とスペイン・バレンシア州の姉妹提携締結を契機に収集し始められたスペイン美術作品も特徴的で、先のゴヤに加え、日本では珍しいムリーヨの宗教画、ダリやミロの優作も所蔵しています。

他方、これまで三重県立美術館では開館記念展であるサンパウロ美術館展を始め、西洋美術をテーマにした様々な展覧会を開催してきました。

本展覧会では、コレクションの西洋美術作品から約90点を公開します。さらに、過去に開催した西洋美術に関連する企画展を当時のチラシやポスター、そして会場の記録写真などで振り返り、三重県立美術館と西洋美術のかかわりをご紹介します。



② クロード・モネ 《橋から見たアルジャントウイユの泊地》 1874年
三重県立美術館蔵
公益財団法人岡田文化財団寄贈

展覧会のみどころ

三重県立美術館の西洋美術コレクションを大公開

三重県立美術館が40年間で収集してきた西洋美術作品の名品を公開します。開館以来多くの来館者に親しまれてきた当館を代表する作品、シャガールの《枝》をはじめ、モネやルノワール、ルオーなど日本人にとってもなじみ深い作家の作品、さらにはノルデやキルヒナーといったドイツ表現主義作家の版画作品まで様々な作品をご覧ください。三重県立美術館の西洋美術コレクションをご堪能下さい。

魅力的なスペイン美術

2022年は、三重県とスペイン・バレンシア州の姉妹都提携30周年の年にもあたります。この姉妹提携を契機に、美術館の収集方針には「スペイン美術」が加えられ、スペイン人作家の作品が収集されてきました。中でも日本国内では珍しいムリーリョの宗教画やダリの1930年代の優作は必見です。また、本展の一室ではスペイン・バレンシア現代作家たちが手掛けた、絵画、彫刻、インスタレーションによる独特な作品群をご覧ください。

これまでの企画展を振り返る

三重県立美術館はサンパウロ美術館展とともに開館しました。これ以降、エルミタージュ美術館展やヒューストン美術館展などの海外の有名美術館のコレクション展に加え、ルーベンスやシャガール、デュフィなど西洋美術における重要作家の個展を開催しています。本展ではこれらの企画展を当時の報道記事や記録写真によって振り返ります。三重県立美術館40年の歴史に思いを馳せてみてください。



③ ピエール・ボナール

《ヴェルノンのセーヌ川》 1912年

三重県立美術館蔵

三井貞三氏寄贈

展覧会概要



④ ラウル・デュフィ 《黒い貨物船と虹》 1949年頃 三重県立美術館蔵
公益財団法人岡田文化財団寄贈

西洋美術へのまなざしー開館40周年を記念して

会期＝2022年11月19日(土)ー12月11日(日)
開館時間＝9:30ー17:00(入館は16:30まで)
休館日＝月曜日
主催＝三重県立美術館
助成＝公益財団法人三重県立美術館協力会

観覧料＝一般700(500)円／学生600(400)円／高校生以下無料

* ()内は20名以上の団体割引料金

* この料金で「特集展示 生誕100年 元永定正展」、「柳原義達の芸術」もご覧いただけます。

* 障害者手帳(アプリ含む)等をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。

* 生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。

* 教育活動の一環として県内学校(小・中・高・特別支援)および相当施設が来館する場合、引率者も観覧無料(要申請)。

* 家庭の日(11月20日(日))は団体割引料金でご覧いただけます。

関連イベント

連続レクチャー

11月23日(水・祝) 午後2時～(1時間程度)

「絵を読む悦び——三重のコレクションに見る近代」

講師:速水豊(三重県立美術館館長)

場所:三重県立美術館講堂

定員70名／参加費無料・先着順

12月3日(土) 午後2時～(1時間程度)

「スペイン美術いまむかし」

講師:坂本龍太(本展担当学芸員)

場所:三重県立美術館講堂

定員70名／参加費無料・先着順



⑤ フランシスコ・デ・ゴヤ 〈戦争の惨禍〉(74)
《これはもう最悪だ!》 1810-15頃 三重県立美術館蔵

[参加方法]

午後1時30分より開場します。時間になりましたら、直接講堂にお越しください。

※上記のイベントでは、手話通訳、要約筆記を行います。

※情報は、今後の状況に応じて変更となる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトをご覧ください。

広報用文

(紙面作成時にご自由にご使用ください。)

約100字

開館40周年を記念し、三重県立美術館がこれまでに収集してきた西洋美術作品から約90点を公開します。ムリーリョやゴヤ、モネ、ルノワール、シャガールなど西洋美術の巨匠の達作品をご覧ください。



⑥ E.L. キルヒナー 《三婦人》
1907年 三重県立美術館蔵

約150字

1982年に開館した三重県立美術館は、本年、40周年を迎えました。これまでに築き上げてきたコレクションは、絵画、版画、水彩画、素描、彫刻など6000以上に上ります。本展では西洋美術を中心に、コレクションの名品をご紹介します。また、三重県とスペイン・バレンシア州の姉妹提携30周年を記念し、一室ではスペイン現代美術特集を組みます。

広報用画像

下記の画像を広報用に提供します。

ご希望の方は、注意事項をお読みの上、下記連絡先に希望の画像番号をお知らせください。Eメールにて画像をお送りします。

- ① バルトロメ・エステバン・ムリーリョ 《アレクサンドリアの聖カタリナ》
1645-50年頃 三重県立美術館蔵
- ② クロード・モネ 《橋から見たアルジャントウイユの泊地》
1874年 三重県立美術館蔵
- ③ ピエール・ボナール 《ヴェルノンのセーヌ川》 1912年 三重県立美術館蔵
- ④ ラウル・デュフィ 《黒い貨物船と虹》 1949年頃 三重県立美術館蔵
- ⑤ フランシスコ・デ・ゴヤ 〈戦争の惨禍〉(74)《これはもう最悪だ!》
1810-15頃 三重県立美術館蔵
- ⑥ E. L. キルヒナー 《三婦人》 1907年 三重県立美術館蔵

■掲載にあたってのお願い

- ・各画像下のキャプション(作品名、所蔵者名)を画像と一緒に掲載してください。
- ・作品画像への文字乗せ、画像トリミングはご遠慮ください。
- ・掲載物を1部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ・ウェブサイト上に掲載する場合はコピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- ・画像データの広報目的以外の使用はできません。

お問い合わせ

三重県立美術館 学芸普及課 坂本龍太 鈴木麻里子

TEL:059-227-2100(代表) / FAX: 059-223-0570

Email:bijutsu2@pref.mie.lg.jp

〒514-0007 津市大谷町11

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

Follow us on Twitter @mie_kenbi